

アブラキサン適正使用ガイド(乳癌)より

治療期間中の注意

●次コース開始時 (Day 1) の注意 (P.39参照)

- ①2コース目以降の投与は必ず臨床検査、患者状態を確認し、可能な限り【次コース開始基準】に該当していることを確認してください。
- ②【次コース開始基準】に該当しない場合は投与を延期し、回復・軽快したことを確認して次コースの投与を開始してください。
- ③前コースでの副作用の発現状況(発現時期、程度)を考慮し、投与の可否、投与量の減量を検討してください。

減量・再開の目安

- ①前コースで【減量基準】に該当する副作用が認められた場合
【次コース開始基準】に回復・軽快するまで投与を延期し、(減量の目安:A法)を参考に減量し投与してください。
- ②末梢神経障害
末梢神経障害はGrade 2以下であっても、減量を考慮してください。
(乳癌の使用成績調査²⁾では、減量や処置等により回復・軽快した症例が認められています。)

項目	減量基準	次コース開始基準
好中球数 (/mm ³)	<500*	≥1,500
発熱性好中球減少症	発現	認めない/回復
血小板数 (/mm ³)	<50,000	≥100,000
肝機能値 (AST, ALT)	医師が同一用量で投与継続困難と判断	≤ULN×2.5倍
末梢神経障害	≥Grade 3	≤Grade 1
皮膚障害	≥Grade 2	≤Grade 1
粘膜炎又は下痢	≥Grade 3	≤Grade 1
非血液学的毒性(脱毛は除く)	≥Grade 3	≤Grade 2

* 添付文書には「好中球数が7日間以上にわたって500/mm³未満となった場合は投与量を減量すること」と記載している上記以外で減量/投与延期が必要な場合は医師判断で減量/延期してください。

〈減量の目安:A法〉

減量段階	投与量
通常投与量	260mg/m ²
1段階減量	220mg/m ²
2段階減量	180mg/m ²

A法(3週ごと投与法):投与スケジュール

